

別添_別紙_資料 機能要件等一覧表

| 生成AIサービス | 概要 | 行政機関向けの生成AIプラットフォーム。多様な大規模言語モデル (LLM) が活用可能である。 |
|----------|--|---|
| 機能要件 | ライセンス | 1 ユーザーの利用数は無制限とすること。 |
| | 2 | 2 ユーザーの同時接続数は50以上とすること。 |
| | 基本機能 | 3 生成AIサービスは、SaaS(Software as a Service)での提供形態であること。 |
| | 4 | 4 専用ソフトウェアは不要でブラウザにより利用可能であること。ブラウザについては、Google Chrome、Microsoft Edge、Safariに 対応していること。 |
| | 5 | 5 奈良市のインターネット系ネットワークからアクセス可能であること。将来的なL2WAN接続系 (L2WAN-ASP) ネットワークからのアクセスにも対 応可能な設計であること (併用接続までは求めない) |
| | 6 | 6 本サービスの提供時間は、24時間365日であること。(ただし、事前に通告し両者調整を図った場合の計画停止は除く) |
| | 7 | 7 従量課金に係る利用量をリアルタイムで把握できること。 |
| | 8 | 8 従量課金で発生するコストについて、予定量を達した場合に従量課金分のサービスを停止するなど追加コスト発生を防止できること。 |
| | コア生成AI機能 | 9 マルチLLMに対応し、具体的にはGPT-5mini、Gemini2.5 Flash thinking相当以上のものについて、2つ以上利用ができること。 |
| | 10 | 10 GPT-5 mini、Gemini2.5 Flash thinkingのいずれかと同じか、それ以上の性能を持つ言語モデルが文字数が無制限に利用できること。 |
| | 11 | 11 上記のモデルを除くGPT5モデル相当 (Gemini2.5Pro等) の利用文字数は1か月あたり500万文字以上とし、利用可能な上限設定ができること。 (GPT5モデル相当の利用が無制限である場合は、この限りでない。) |
| | 12 | 12 生成AIに入力した情報が学習に利用されないこと。 |
| | 13 | 13 禁止ワードや機密情報 (個人番号を含む) の入力について、検出・制限 (例：入力の拒否、警告表示) する機能を有すること。 |
| | 14 | 14 生成AIとユーザーがチャット形式で会話できること。 |
| | 15 | 15 同一スレッドにおける会話履歴について、最低50往復の会話を保持できること。 |
| | 16 | 16 生成AIとの会話を任意のタイミングで中断でき、新しく会話を始められること。(新しいスレッドで会話できること) |
| | 17 | 17 会話履歴はユーザー毎に一覧管理でき、任意の履歴から再開が可能であること。 |
| | 18 | 18 Web情報を参照し、参照元リンクを示した上でコンテンツを生成できること。 |
| | 19 | 19 生成AIにプロンプトを与える際にファイルを添付することができ、生成AIが添付されたファイルを認識してコンテンツを生成できること。 |
| | 20 | 20 2時間程度の音声ファイルをアップロードし、AIが内容を解析またはテキスト化し要約できること。 |
| | 21 | 21 画像ファイルをアップロードし、AIが画像を解析して資料 (レポート、説明文等) を自動生成できること。 |
| | 22 | 22 自治体向けの プロンプトのテンプレート機能を50種類以上、有していること。 |
| | 23 | 23 奈良市独自のテンプレートの作成、共有ができること。 |
| | 24 | 24 生成AIとの対話をURL形式で共有できること。 |
| | 25 | 25 契約期間中における生成AIとの会話履歴の保存期間に制限がないこと。 |
| | 26 | 26 生成AIとの会話履歴をCSV形式でダウンロードできること。 |
| | 27 | 27 ユーザー自身による会話履歴の削除ができること。 |
| | 28 | 28 入力したプロンプトをもとに画像を生成・編集できること。 |
| | RAG機能 | 29 奈良市の公開データ、庁内のデータ (規程、マニュアル等) をアップロードし、AIが参照して回答を生成することができること。 |
| | 30 | 30 アップロードファイルはPDF、Word、PowerPoint、Excel、CSV、TXTに対応していること。 |
| | 31 | 31 アップロードファイル数に上限がないこと。 |
| | 32 | 32 アップロードファイルは、1ファイルに対し10MBまで可能で合計100GBまで無料で利用できること。 |
| | 33 | 33 RAGを用いて生成した場合、参照したファイル名が識別できること。 |
| | 34 | 34 RAG環境で生成を行う場合は、基本的にRAGで連携した情報から出力がされること。 |
| | 35 | 35 アップロードファイルは、別のユーザー・グループからアクセスできないよう制限できること。 |
| | 管理機能 | 36 ユーザーIDとパスワードによって認証しログインできること。また、パスワードは、各ユーザーが自ら設定 (再設定含む) できること。 |
| | 37 | 37 ユーザーはグループ分けできること。また、グループごとに機能・アクセス範囲を制御できること。 |
| | 38 | 38 複数ユーザーに管理者権限を設定できること。 |
| | 39 | 39 ユーザーごとに使用可能なAIモデルの設定、RAG環境の設定ができること。 |
| | 40 | 40 ユーザー情報を登録・修正・削除ができること。また、CSVファイルから一括登録・変更ができること。 |
| | 41 | 41 無操作状態 (例：一定期間文字入力がない) のログインセッションが30分程度を超過した場合、自動的にセッションを終了すること。 |
| | 42 | 42 同時アクセス数や入力文字数など、利用制限の上限に達した際に、利用者へ適切な警告またはエラーメッセージを表示すること。 |
| | 43 | 43 ユーザーのデータは完全に独立しており、他のユーザーからは閲覧、変更、削除ができないこと。 |
| | 44 | 44 チャットの会話ログが収集できること。 |
| | 45 | 45 チャットログを検索できること。 |
| | 46 | 46 チャットログを分析できる機能が提供されていること。 |
| | 47 | 47 各種ログをCSVファイル形式で全件エクスポートできること。また、インバウンドアウトバウンドに関わらず取得できるログを契約終了 まで管理、保管し、照会に応じて情報提供ができること。 |
| | 48 | 48 ユーザーの利用状況 (同時接続数、利用文字数など) をリアルタイムに確認できる機能があること。 |
| | 49 | 49 全ユーザーやユーザーごとの生成AI利用状況、工数削減時間を可視化するダッシュボード機能があること。 また、月次の使用状況が確認できること。 |
| | 50 | 50 ユーザーのログイン履歴 (ログイン時の接続IPなど) が特定できること。 |
| 51 | 51 本サービスが稼働するクラウド環境のデータ保存場所は日本国内であること。加えて、本サービスにおいて取り扱うアップロードファイル、チャット 文章、各種ログ、定期的なバックアップを含む全てのデータの保存先も日本国内であること。また、日本の法令の範囲内で運用できるデータセンター を保有しているクラウドサービス事業者であること。 | |
| 52 | 52 利用するクラウド環境は、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)」に登録されたサービスであること。 上記原則に当てはまらないクラウドサービスを用いる際は、ISMAP登録の申請済み (審査中) であること、かつ、クラウドサービスにおける第三者認 証 (ISO/IEC 27001、27017、27701他) をはじめとした、上記性能と同等のセキュリティ対策がとられていることを事業者自ら示さなければならない。 (入札参加申請時に資料提出を要する。) | |
| 53 | 53 テキストチャット、アップロードファイルなど各種保存データの暗号化及び通信の暗号化を行うこと。 安全性を確保するため、通信はHTTPS (TLS 1.3以上) を必須とする。SSL 2.0/3.0 および TLS 1.0/1.1 は無効化すること。 | |
| 54 | 54 奈良市の全てのデータ (アップロードファイル、チャット履歴、ユーザー情報等) が、他の利用者 (他団体、他ユーザー) のデータから論理的に完全 に分離され、相互にアクセスが不可能な構成であること。 | |
| 55 | 55 本サービス提供事業者がクラウド上に保管される奈良市情報資産へ奈良市の許可なくアクセスしないこと。 | |
| 56 | 56 アクセスログ、各種通信ログ、操作ログデータの改ざんの防止、保護ができ、またその保存期間は半年以上であること。 | |
| 57 | 57 契約終了後、ユーザーデータ、各種保存データを削除すること。また、削除に関する証明書を提出するとともに、削除内容に関する作業レポートを提 出すること。 | |
| 58 | 58 万が一、データの漏洩などが発覚した場合には人物や経路などを特定できるトレーサビリティを有していること。 | |
| 59 | 59 日々バックアップを行っており、リストアテストを定期的実施していること。必要に応じて復旧が可能なこと。 | |
| 非機能要件 | | |